

**製品名: RGS10 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab17089**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	20kDa

**抗原情報**

遺伝子名	RGS10
別名	RGS10; Regulator of G-protein signaling 10; RGS10
遺伝子 ID	6001.0
SwissProt ID	O43665
免疫原	抗血清はヒト RGS10 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 80-129

**背景**

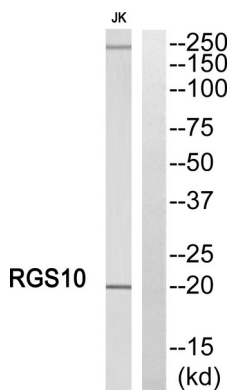
G タンパク質シグナル伝達制御因子 (RGS) ファミリーのメンバーは、ヘテロ三量体 G タンパク質の G  $\alpha$  サブユニットの GTPase 活性化タンパク質 (GAP) として機能する調節分子です。RGS タンパク質は、Gi  $\alpha$ 、Go  $\alpha$ 、Gq  $\alpha$  サブタイプの G タンパク質サブユニット

を不活性化できます。RGS タンパク質は、G タンパク質を不活性な GDP 結合型にします。G タンパク質シグナル伝達制御因子 10 はこのファミリーに属します。すべての RGS タンパク質は、RGS ドメインと呼ばれる 120 アミノ酸の保存された配列を共有しています。このタンパク質は、2つの関連する G タンパク質サブユニットである G-alpha<sub>i3</sub> および G-alpha<sub>z</sub> の活性化型と特異的に結合しますが、構造的および機能的に異なる G-alpha サブユニットとは相互作用しません。G タンパク質シグナル伝達制御因子 10 タンパク質は核内に局在します。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 2つの転写バリエーションが見つっています。 [RefSeq 提供、2008年7月]機能: G タンパク質αサブユニットのGTPase活性を上昇させることでシグナル伝達を阻害し、不活性なGDP結合型へと誘導する。G タンパク質サブユニット G(i)-α および G(z)-α の活性化型と特異的に結合するが、構造的および機能的に異なる G(s)-α サブユニットとは相互作用しない。G(z)-α に対する活性は、G タンパク質のパルミトイル化によって阻害される。、PTM: アイソフォーム 3 は Ser-16 がリン酸化される。、類似性: RGS ドメインを 1つ含む。、

## 研究分野

シグナル伝達; シグナル伝達経路; G タンパク質シグナル伝達; ヘテロ三量体 G タンパク質; 調節因子

## 画像データ



RGS10 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンは RGS10 ペプチドでブロックされている。



RGS10 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析